



「日中韓記者と日本の大学生との対話会」の開催

日中韓三国協力事務局（TCS）は、大学生と日中韓三国記者と意見交換の場を提供し、日中韓の相互認識について議論する「日中韓記者と日本の大学生との対話会」を開催します。

○詳細は、以下の通りです。

- ・日時：4月17日（金）14:00-16:00
- ・場所：東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術センター中教室
- ・共催：日中韓三国協力事務局、東京大学公共政策大学院
- ・通訳：日中、日韓
- ・規模：約50名

【内訳：日中韓記者12名、大学生、日中韓三国協力事務局（事務局次長、社会文化部長、職員2名）

※要事前登：<http://goo.gl/forms/Qby0P3nB4S> より前日までにお申込み下さい。

・内容：

【テーマ：日中韓の相互認識】

1、開会の辞（20分）

陳峰 日中韓三国協力事務局次長

城山英明 東京大学公共政策大学院長

（東京大学によるキャンパスアジア・プログラムの説明）

2、プレゼンテーション

毛丹青先生 ー20分

日韓専門家 ー20分

3、ディスカッションー50分

【議論テーマ】：日中韓は、お互いに対してどのような認識を持ち、その認識にギャップが存在するのか。また、その認識のギャップを埋める方法について議論していく。

【司会】毛丹青先生

【参加者】

日韓専門家

日中韓記者（6名）によるコメント

日本の大学生（6名）による質問及びコメント

4、全体質疑応答ー10分
